

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ119号

発行責任者：事務局長 内田 毅
事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方
TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726
e-mail : utida2443@gmail.com

主な内容

- 2面 アンコン全国大会報告
倉敷少年少女合唱団
- 3面 アンコン全国大会報告
k-mo||
- 4面 理事会職務分担

新年度にあたり

岡山県合唱連盟理事長 小池芳弘

新年度にあたり、ご挨拶申し上げます。

2020年来の新型コロナウイルス感染症で行事の中止や無観客での開催など、連盟も苦しい状況が続きました。しかし、ようやく以前の社会状況に戻り、年間の事業が滞りなく進行できることになり、大変喜ばしい限りです。

さて、今年度は役員改選の年で1月の臨時総会を経て、新理事の体制でスタートしました。

理事の皆様、2年間よろしくお願いいたします。

5月の第1回理事会ではほぼ全員の出席で開催され貴重な意見をたくさんいただきました。

その中で、新たに決定したものが、広報部の配置です。各団体の皆様も団員募集の苦労をされていると思います。連盟としても、広報活動を通して合唱の仲間をより多く増やしていきたいと立ち上げました。

連盟会員の皆様にお願いします。今までの合唱講習会をエンジョイコーラスと名称変更した行事に是非参加していただきたいことです。研修部を中心に、発声や合唱の取り組み方や楽曲の向き合い方など、新しい発見が必ず見つかる講習を計画しています。各団体の演奏会イベント、その他色々な行事で忙しいと思いますが、何卒参加をお願いします。

また、色々なご意見を理事会にお寄せください。長年申し上げている「風通しの良い連盟」を今年も目指していきます。スタートした令和6年度。ますます元気に岡山の合唱を育てていきましょう！

今年度から、小池理事長は中国支部の支部長に就任されました。おめでとうございます。前任の勝部支部長のもとで6年間副支部長をとして中国支部を支えていただきました。これからは支部長として更に力強く中国支部を引っ張ってくださるものと思います。私たち岡山県合唱連盟もしっかり後押しをしなければなりません。私も引き続き中国支部事務局長に任命されました。県連と同様に体力の続く限りお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

以下に支部長がハーモニー 209号に寄稿されたものを多少加筆修正して転載します。

(事務局長 内田 毅)



中国支部新体制で始動

今期より中国支部長に就任いたしました岡山県の小池です。中国支部は、山陽の岡山・広島、山陰の鳥取・島根、そして九州の玄関口である山口の5県で組織されています。役員構成を簡単に紹介します。副支部長は、広島県理事長・福原泰弘。理事として鳥取県理事長・原礼子、島根県理事長・布野浩志、山口県理事長・有富美子。そして各県連の副理事長5名、監事1名、事務局長1名の計12名です。(各県連の事務局長はオブザーバー)

前支部長の勝部俊行氏には、会長としてサポートをお願いしております。

新年度4月28日に新体制で支部理事会が開催されました。議題の、前年度事業・決算報告、2024年度事業計画に続き、各県の状況についての詳しい報告が出されました。問題として

- 加盟団体減少をどのように食い止めるか。
- 部活動の地域移行、働き方改革への対応策。
- 青少年・次世代育成のための企画

など、さまざまな提起、議論が理事会後の懇親会まで続きました。その中で、加盟団体増よりも、これ以上脱会させない為の加盟の意義やメリットを、どのように作り、どのように伝えるかが話題になりました。

全国の府県に比べ、加盟団体数が少なく、事業

の収支均衡の運営が大変厳しいのが現実です。次世代の育成のための投資も、各県の財成の中では催しの縮小を考えざるをえない状況です。全日本でも、魅力ある合唱連盟にするため、合唱仲間を増やすために色々な方策が出されています。支部としての問題を届けるとともに、一致団結して中国支部を盛り上げることを確認して理事会を終了しました。

次に予定されている支部開催の全日本事業は、2026年3月岡山県倉敷で開催されるJCAユース、2026年8月おかあさん全国大会（広島開催予定）です。万全の体制で準備してまいります。どうぞこれからも中国支部をよろしく願います。

（全日本合唱連盟中国支部長 小池 芳弘）

声楽アンサンブルコンテスト全国大会

「全国金賞」と「全国・総合2位」受賞のご報告とお礼

倉敷少年少女合唱団・指揮者・難波夕鼓

岡山県アンコン表彰式、子ども達に心配そうな表情が広がった。昨年アンコン全国大会で「金賞・全国総合3位」を頂き、今年も公募審査を（一般部門）全国1位通過で全国大会に出場させて頂ける事は決まっていた。子ども達も大好きな鈴木輝昭先生に頂いた委嘱新曲「虹」で全国大会上位入賞を目指し、力を合わせて取り組んでいたが、県代表としての評価には達しなかった。今年の県大会は、子ども達も憧れる団の先生にお聴き頂ける事も楽しみに練習していた。当日の状況から、子ども達に「大丈夫、心配ない。」と伝えた。

それから1か月で2曲目の委嘱新曲をなんとか仕上げ、全国大会に挑んだ。予選（一般部門）を金賞2位で通過した為、本選の出場順が朝一番になってしまった。いつも応援下さる夕食会場のご主人のご好意に甘え、閉店後に練習させて頂く。翌朝は、本選用に確保していた練習会場が早朝の為使えず、貸し切りバス内で最終練習。信じられない事に、見事、子ども達は昨年を上回る「全国総合2位」（1位同点）に輝いた。表彰式では審査員のミシュキニス先生に異例の名指しでお誉め頂き、子ども達にも一生忘れられない思い出となった。

今年も岡山県の子も達が、福島での素晴らしい経験と音楽的な成長を以てアンコン全国大会を終える事が出来、応援下さる多くの皆様や先生方、県連の皆様にお礼申し上げます。当団では園児から多くの団員が楽しく合唱に取り組んでいます。ぜひ体験にお越し下さい！



声楽アンサンブルコンテスト全国大会を振り返って

k-moll 安達 裕貴

去る3月23日、福島県で開催された「声楽アンサンブルコンテスト全国大会一般部門」に県代表として出場しました。我々にとって二度目の全国大会の結果は優良賞で、入賞はなりませんでしたが、ホールの素晴らしい響きを実感したり、他団体の圧巻の演奏を聴いたり、貴重な経験をさせていただきました。

我々k-mollは、Flügelに所属するメンバーを中心として、冬の”アンコンシーズン”に活動するグループであり、2016年、当時大学生だったメンバーで結成しました。

普段の練習から、他者を尊重し、各々が意見を出し合いながらアンサンブルを作り上げることを心がけています。

途中、コロナ禍により2年間活動を休止していましたが、「もう一度歌いたい」という気持ちを胸に、2022年度に活動を再開しました。そんな再

開二年目の年に、思いがけず全国推薦を頂き、喜びよりもむしろ驚きの気持ちが大きかったというのが正直なところです。

全国大会に向けての練習では、演奏曲数が増えたことによる時間配分の調整に苦戦しましたが、本番では、3曲とも我々らしい演奏ができたのではないかと思います。もちろん、演奏についての反省点は少なくないので、今年度も、皆様に感動を届けられるような演奏ができるよう練習を続けていきます。

最後になりますが、この度の県大会の運営はもとより、日頃から岡山県の合唱文化の振興・発展にご尽力いただいている岡山県合唱連盟の皆様には厚く御礼申し上げます。

また、全国大会で見事本選第2位となられた倉敷少年少女合唱団さんに、心から祝福申し上げます。



2024年度実行委員会基本配属

〈大会役員〉	大会会長	小池 芳弘 (岡山県合唱連盟理事長)
	大会副会長	大山 敬子 (岡山県合唱連盟副理事長)
	//	松下 泰久 (岡山県合唱連盟副理事長)
	//	内田 毅 (岡山県合唱連盟副理事長兼事務局長)
	//	勝亦 邦夫 (朝日新聞岡山総局長) (コンクール・おかあさん大会のみ)

○〈実行委員会〉	委員長：	副理事長 (大山又は松下)
	《舞台部》部長	西山 隆幸 (事務局・倉敷男声合唱団) 小倉 典子 (総社市立総社西中学校コーラス部) 森野 啓司 (岡山県立岡山城東高等学校合唱部) 笠原 宗矩 (岡山大学男声合唱団コール・ロータス)
	《誘導部》部長	宇佐美慶人 (混声合唱団SOLA) 須崎 雄太 (岡山大学グリークラブ) 関本 憲章 (瀬戸内混声合唱団) 片岡 俊輔 (合唱団こぶ) 近藤 典子 (U-mommy's)
	《会場部》部長	今福 茂樹 (常任理事・岡山市民合唱団鷺羽) 難波 夕鼓 (倉敷少年少女合唱団) 塩飽 聡 (総社市立総社東中学校合唱部グリー) 片岡 大地 (岡山理科大学混声合唱団クリスタルコール) 佐藤 和子 (La Voce)
	《審査部》部長	内田 毅 (岡山市民合唱団鷺羽)
	次長	蜂谷 陽子 (常任理事・コーロ グリーチネ) 脇本 恵子 (常任理事・倉敷コール・クライネ) 矢吹 明香 (岡山県立総社高等学校合唱部) 宗包光史郎 (IL MAGAZZINO)
	《接待部》部長	中川 洋子 (コール黄薇・兼務)
	次長	平川かおる (コーロ グリーチネ) 大木 幹子 (倉敷コール・クライネ) 大橋 弥生 (コール・ココ)
	《総務部》部長	中川 洋子 (コール黄薇) 中島 加恵 (合唱団こぶ) 和氣 政敏 (倉敷男声合唱団) 平井 由美 (Coro Place)

○〈事務局〉	事務局長	内田 毅
	次長	西山 隆幸
	会計	中川 洋子 (コール黄薇)
	局員	中島 加恵、和氣 政敏、平井 由美

○〈研修部〉	部長	脇本 恵子 蜂谷 陽子、今福 茂樹、小倉 典子、西山 隆幸、 若狭 邦彦、山路 真、井上 知起
--------	----	---

【編集後記】

5月中旬には発行の予定でしたが、今まで遅れてしまい申し訳ございません。

上に実行委員会の配属表を載せました。Chorfest では表のとおり各部署で業務に就いていただきます。ただし、コンクール等では出演団体の理事は免除されますので人数も減ります。そこをカバーしてくださるのが、各団からの応募スタッフです。今年はコンクールとアンコンのお手伝いをお願いすることになりますが、ご協力をよろしくお願い致します。

7月には課題曲講習会があります。NHKコンクールや全日本合唱コンクールに参加されない団には無縁のものと思われがちですが、決してそうではありません。歌わなくても聴講をして、合唱団が上達する過程を感じ取って欲しいと思います。

さて、例年ですと梅雨入りの季節ですね。今年の紫陽花の咲きかげんは？今年のホテルの飛び具合は？ 今年庭のゆすら梅が実を一つもつけなかったのが気になります。少し余裕が出来たら鑑賞に行きたいと思います。

事務局長 内田 毅